

テトテトテトテテ

校長だより 2023. 7. 28 NO. 3

島根県聴覚障がい 教育研究協議会

夏休みに入り、猛暑が続いていますが、卓球部の生徒は、7月29日、30日に開催される中国地区ろう学校体育大会(鳥取大会)に向け、連日、練習に励んでいます。



昨年度は、蒸し風呂のような体育館でしたが、体育館に2機のアコンが設置されたおかげで、快適とまではいきませんが、練習に打ち込むことができました。教員を相手にした壮行試合も終え、あとは本番を待つばかりです。これまで共にがんばってきた仲間を信じ、最後まであきらめず、頂点を目指して、ベストを尽くしてほしいと願っています。

さて、私たち教職員は、この夏休みを利用して様々な研修を受講し学んでいます。7月27日には、本校を会場に「島根県聴覚障がい教育研究協議会」を開催しました。午前中は、小学部「国語科」、中学部「総合的な学習の時間」の授業研究を行い、午後からは、愛知教育大学 大塚とよみ先生に「主体的・対話的で深い学びを実現する聴覚障がい教育の専門性とは」というテーマで講演していただきました。

この会の主管は、本校と浜田ろう学校が1年ごとに担当します。以前は、集合型で実施していましたので、代表者しか参加できませんでした。近年はリモート研修が可能となり、両校の教員が全員参加することができるようになりました。公開授業についても、直接参観できる教員は限られますが、録画された動画を全員が視聴できるようになりました。そして、写真のように聴覚障がいのある教職員に対応した情報保障も行います。手話通訳者による「手話」と音声変換アプリを用いた「文字情報」を端末に提示します。このような聴覚障がい者に配慮した研修会ができることも本校の強みでもあります。本校では当たり前の「情報保障」の視点やノウハウは、企業や地域にも発信していきたいと思えます。